

とびひ

読本

監修：岡山大学 名誉教授
荒田次郎 先生

アステラス製薬株式会社



「とびひ」って なあに？



「とびひ」は、正しくは^{でんせんせいのおかしん}伝染性膿痂疹と
いいます。

黄色ブドウ球菌やレンサ球菌といった
名前の細菌が原因でおこる^{ひふ}皮膚の感染症
のひとつです。

顔や手足にかゆみをとまなう水ぶくれができ、それが
簡単に破れてほかの場所やほかのこどもに
つぎつぎに“飛び火”してどんどん広がって
いくことからこう呼ばれています。

以前、この「とびひ」は、こどもに夏の間
しか見られませんでした。最近では
エアコンや温水プールの普及により、
年中見られるようになりました。

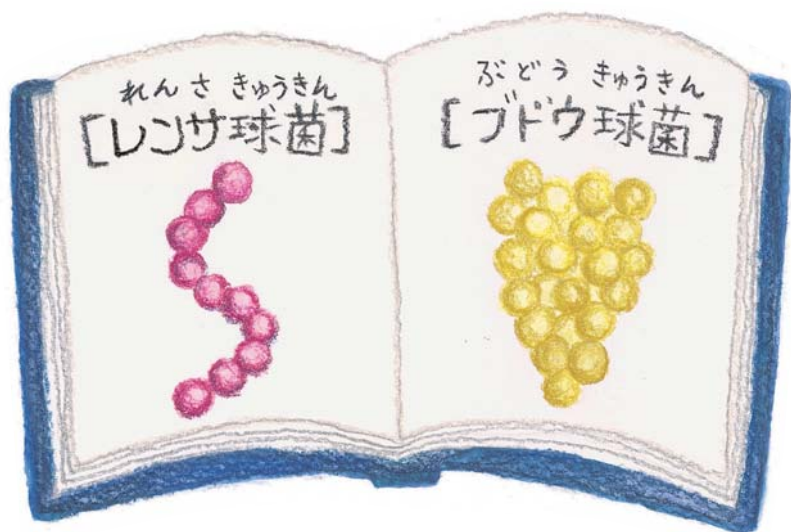
また、少数ですが大人にも「とびひ」
が見受けられるようになりました。
レンサ球菌が原因の場合には、
熱がでることもあります。

**飛び火のように広がるから、
「とびひ」っていうんだね!**





どうして 「とびひ」に なるの？



かいたり、さわったりして バイキンははいっちゃうんだ。

「とびひ」は、虫さされやあせも、かき傷、すり傷や湿疹などに黄色ブドウ球菌やレンサ球菌といった細菌が入りこんでおこります。

これらの細菌は、健康な^{ひふ}皮膚には感染しませんが、傷ができていたりアトピー性皮膚炎^{ひふえん}があったりすると、皮膚の^{ひふ}抵抗力が弱くなっているため感染してしまいます。



虫さされ



あせも



すり傷



「とびひ」を 見つける ポイントは？





夏、虫さされのあとの ジクジクに気をつけて!

「とびひ」は、主に高温多湿になる5～6月から夏にかけて、
皮膚の抵抗力の弱い0～6歳のこどもに多く見られます。
「虫さされのあとがいつまでもかゆく、ジクジクして、
なんだかいろいろなところにうつって増えてきた」という
症状がある場合には、この「とびひ」を疑ってください。





「とびひ」を 治すには？



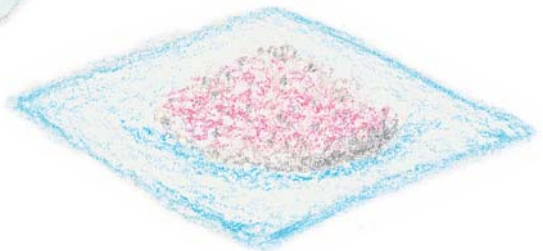


お薬が一番の近道なんだ。 お医者さんにみてもらおう！

「とびひ」には抗生物質こうせいぶっしつが効果的ですので、「とびひ」かな？
と思ったら、すぐにお医者さんにみてもらいましょう。
ジュクジュクした部分(患部)は、消毒した後、抗生物質こうせいぶっしつ
の入ったぬり薬をぬって、ガーゼおおで覆おおいます。

お薬には、このぬり薬のほか、抗生物質こうせいぶっしつの飲み薬
も使います。

かくことによってほかの場所に
うつるのを防ぐために、かゆみ
止めの抗ヒスタミン剤が
使われることもあります。





「とびひ」になっちゃったら!

Q1.
保育園や幼稚園、
学校には行っても
いいの?

ほかのこどもにうつさないように、なるべくこども同士はふれあわないように気をつけましょう。保育園や幼稚園、学校などの集団生活をさせる場合には、患部をガーゼで覆い、こどもが直接ふれないようにしましょう。「とびひ」の範囲が広い場合は、休ませたほうがよいこともあります。



Q2. プールに入っても いいの？

プール(水泳)は
完全に治るまでは
絶対に禁止
しましょう。



Q3. お風呂に入っ てもいいの？

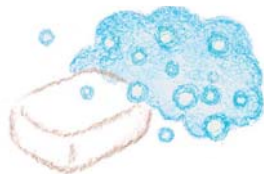
お風呂は入っても
かまいませんが、完全に
治るまでは、シャワーやかけ湯に
とどめ、湯ぶねにはつからない
ほうがよいでしょう。
また、ほかの子どもと一緒に入るのは
避けたほうがよいと思われませんが、
傷や湿疹などがなければ
必要以上に神経質に
なることはないでしょう。





「とびひ」の 手当てについて





ひっかかないようにしようね!

「とびひ」になるとかゆいので、こどもはさわったりひっかいたりしてしまいますが、ひっかくとほかの場所に“飛び火”しますので、ひっかかないように気をつけましょう。また、鼻の中には「とびひ」の原因となる黄色ブドウ球菌がたくさんいますから、鼻をいじるのはやめさせましょう。

清潔第一!

皮膚はつねに清潔にするよう心がけましょう。患部(ジクジクした部分、かさぶたになった部分)は、ゴシゴシこすらずに石けんをよく泡立てて手でやさしく洗い、あとはシャワーで十分流しましょう。洗った後は乾いたタオル*で軽く押さえるようにして水分を吸い取って薬をぬり、ほかの場所や人にうつさないようにガーゼなどで患部を広く覆おおいます。衣類は、綿などの吸湿性のよいものを選び、うみ濃などでよごれたらすぐに着替えさせましょう。



*タオルは、なるべくほかの家族と共用しないようにしましょう(洗濯は、一緒にしてもかまいません)。

「とびひ」予防の 5つの心得

- ① 夏は、毎日お風呂に入るかシャワーを浴び、石けんを使ってよく洗淨し、あとはよく流しましょう。
- ② 湿疹・アトピー性皮膚炎ひびえんの治療につとめましょう。
- ③ 虫さされ、すり傷などは早めにきちんと治療しましょう。
- ④ 爪は短く切り、外出後や遊んだ後は手をよく洗いましょう。
- ⑤ 鼻をいじるのをやめましょう。

おだいに



お医者さんの指示に従って、
しっかり治そう!

病医院名